

【様式①】令和3年度 学校評価書(幼稚園)

園名 岐阜市立岐阜東幼稚園

園長名 藤井 佐由美

市の重点項目	園の重点項目	自己評価	達成状況	改善の方向
全職員や地域コミュニティとの協働による指導体制を確立し、組織を有機的に機能させた教育活動を行う。	・4年目を迎えるコミ・スクの組織や取り組みを積極的に活用し、教育活動の多様化と充実を図る。 ・園行事、日常業務の見直しや、役割の明確化を行い、有機的な組織作りに努める。	A	・地域の方の支援をいただき、泥んこ遊び、稲刈り、テーブル作りなど子どもたちの豊かな実体験になった。また、子どもの興味関心と、教師のねらいを明確にしながら活動内容や方法を見直したことにより、活動以降も遊びが広がったり、深まったりした。 ・コミ・スク活動の回数が増え、地域の方に親しみをもって名前を呼んだり話を聞いたりできるようになり、地域の人との関わりに喜びを感じるようになった。 ・残業時間が増えないように意識した。それにより、業務の処理速度を上げたり、計画をもって進めたりするようになった。	・今後も、子どもたちの豊かな保育活動につながるよう、活動のねらいや内容などを計画的に進めていけるようにする。 ・更に、コミ・スク活動を活用して、開かれた幼稚園としての教育活動の啓発に努める。 ・業務のスリム化を図ったり、成功例の情報を知り、自分たちに生かす等、工夫できることを検討したりしていく。
園や地域の特色を活かした創意ある教育課程を編成・実施・評価し、教育内容の改善や充実を図る。	・子供、教員ともに、心ときめく瞬間(とき)を生かし、援助や環境の在り方を具体的にし、学びに向かう力を育む保育の充実を図る。 ・園全体の協力体制のもと、一人ひとりが充実感をもって過ごし自己発揮することで、自分も仲間も大切に思えるように、互いのよさを認め合える関係作りに努める。	A	・教師も子どもと共に様々な事柄に心を動かし、遊びを楽しむ中で子どもの興味関心や遊びの刺激となるような具体的な環境や援助を考えることができるようになってきた。 ・ドキュメンテーションを生かした記録を取ることで遊びの振り返りや子どもの様子が分かり、今後の援助や方向性を見出しやすくなった。 ・職員間でケース会議を開いたり、朝の打ち合わせで情報共有をしたり、関連機関と連携を取ったりしたことで、園内の協力体制が強化され、一人一人が安心して園生活を過ごせる姿につながった。	・ドキュメンテーションに子どもの育ちを記録していくことを意識化し、付箋やボードを活用しながら、子どもの発達や育ちについて各自の考えを明確にしたり、討議を深めたりしていけるようにする。 ・一人一人の子どもの幼児理解を深め、その子ならではの具体的な支援を考え実践につなげていく力を高める。
教育の成果や評価を積極的に公表するとともに、学校運営協議会等による評価を幼稚園経営の改善に生かし、信頼に応える開かれた幼稚園づくりを推進する。	・園の教育方針や子供の育ち等、家庭や保護者、地域への積極的な情報発信に努める。 ・園の教育活動について、学校運営協議会、保護者等による評価を公表し、改善に生かす。	A	・通信やホームページで、より多くの人に見てもらえるよう、写真を増やしたり内容やレイアウトを工夫したりなど、子どもの様子や育ちが伝わるように工夫することができた。 ・保育活動を様々な人に知ってもらえるように通信や外部機関との連携の写真や記事などを、メディアなどに紹介したり、ホームページやYouTube、Twitter、Facebok等のSNSを活用して広く発信することができた。 ・毎日、朝の健康観察を丁寧に行う中で、健康相談へ誠実に対応することができた。また、個別的な保護者の子育て相談やPTA活動の改善策等に対して真摯に向き合うことが出来た。	・引き続き、ホームページやYonTubuなど見やすく分かりやすくすることにより、幼稚園の教育方針や大切にしていることを情報発信することに努める。 ・保護者からの相談や意見に傾聴すると共に、各自が組織の中の役割を意識し、自分の考えを明確にもちながら対応していくことに努める。
教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する。	・ICTを活用し、子供たちの興味関心を広げたり深めたり、職員が研修、教材研究などで活用したりするなど教育活動に有効に活用する。 ・教材購入の際には、目的を明確にし、取り扱いが適切か確認し、より有効に活用する。	A	・直接体験を基本としながら、虫の名前、草花の名前等、子どもの疑問に対してiPadを活用して調べたことで、子どもの好奇心や探究力が高まった。 ・科学館や長森東小学校、加納幼稚園とのオンライン交流を行うことで、つながる喜びを味わい、遊びの刺激になった。 ・iPadを研修に使用したことで効率的に学ぶことが出来たり、在宅ワークをしたりする等、iPadを活用することができた。 ・財源が限られていることを実感し教材を無駄のないように使用したり、園にあるものを生かしたりする等、有効に活用することができた。	・今後もiPadの活用方法を検討し、専門家の指導を受けられるような研修に参加しながら、活用事例を増やしていく。 ・教材等、計画的に無駄のないように使用し、子どもと共に、SDGsを意識する等、物を大切に使うことを継続していく。 ・個人情報について、各自の意識を高め、ダブルチェックを行うなど徹底していく。
災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする。	・新型コロナウイルス感染症防止対策、熱中症対策等を取るとともに、命を守る訓練、安全点検などを通し、安全環境を見直し、園児、保護者、職員の危機管理意識を高める。 ・危機管理マニュアルを項目ごとに見やすくまとめ直し、より活用しやすいようにする。	B	・コロナに対する予防や対策について、表示をしたり子どもに分かりやすく伝えたりしたことで子ども自身が予防策を意識して行う姿が見られた。 ・事前に知らせない訓練や、毎月の命を守る訓練の積み重ねにより、話をよく聞いたり、自分で考えて行動したりする姿が見られた。 ・危機管理マニュアルを項目ごとによりわかりやすくファイルにまとめることができた。	・災害や非常事態の時、各自が自分の動きを具体的にシミュレーションしたり、様々な視点からの情報収集に心がけたりしながら、危機管理意識を高める。 ・異常事案リスク回避の個別票の内容や個人情報の適切な取り扱いについて職員に周知徹底する。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/gifuhigashi-k/>